

## 防災行政無線で放送した内容を電話で聞くことができます！

風雨等により、防災行政無線の放送が聞こえなかったり、聞き取りにくかった場合、次の電話番号にて無料で確認することができます（携帯電話でも可）。

防災行政無線テレホンサービス ☎0120 (438) 119

## 防災情報が自動的に配信されるサービスもご利用ください

### もばら安全安心メール

右の2次元コードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

[touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp](mailto:touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp)



### 電話配信・FAX配信サービス

「もばら安全安心メール」の利用が困難で、65歳以上の方や視聴覚に障害をお持ちの方が対象です。

詳しくは、防災対策課へお問い合わせください。

### Yahoo! 防災速報 (アプリ)



▲Android



▲iPhone

問合せ 防災対策課 (4階) ☎(36)7580、FAX (20)1602

# 市長が行く



茂原市長 田中豊彦

## たまには夢のある話を

豪雨による災害、新型コロナウイルスの感染拡大など、対処すべき問題は多く、明るい気持ちになかなかない今日このごろです。バッドニュースはいい加減もう結構という気持ちにもなってきました。そこで、今回は少し前向きな話をしましょう。

それは、「テレワークシティブロジェクト」です。先日ある友人から、今回のコロナ問題を機に、他の自治体に先駆けて、茂原市をテレワーク都市としてアピールしたらどうかという提案を受けました。茂原市は水害のイメージがありますが、対策をしっかりとすれば都市に住むよりは、総合的に生命を脅かすリスクははるかに低いと思われます。日本中の地方都市が人口減に直面し、抜本的な打開策を講じているところがほとんどない中、今がチャンスかもしれません。

今の社会情勢、ビジネス環境の変化、テレワーカーというターゲット、人口減によって埋もれている市の資産や民間資産（空き家や空いている土地）、全てにおいて100年に一度の最高のタイミングであるかもしれません。確かに、都心から1時間足らずで来られて、圏央道が整備されたおかげで、羽田空港、成田空港にも1時間で行くことができ、3カ所のインターチェンジを備えた都市はなかなかないと思っています。今回のコロナの影響を逆手にとってテレワーカーを呼び込む作戦は大変良いと思った次第です。今回のコロナ感染は世界中に大きな影響をもたらしていますが、企業環境の変化と捉えらると、茂原市のPRの仕方によっては市に劇的な変化をもたらすかもしれません。

このような貴重な提案を受けて、このプロジェクトに積極的に取り組んでいくよう検討を始めました。茂原市に少しでも明るい未来が訪れることを願っております。